

取組の名称		「竹芝干潟」における環境再生・環境学習の取組み	
活動主体（団体名）		一般社団法人 竹芝タウンデザイン、一般社団法人 竹芝エリアマネジメント、東日本旅客鉄道株式会社	
活動主体（団体名）（フリガナ）		イッパンシヤダンホウジン タケシバタウンデザイン、イッパンシヤダンホウジン タケシバエリアマネジメント、ヒガシニホンリョウカクテツドウカブシキガイシャ	
取組の内容 （自由記述）	①概要	江戸時代には潮入庭園があり、海と共生したまちであった竹芝地区において、「舟運の活性化」、「環境再生・学習の場づくり」及び「賑わいの創出」の実現を目指し、「竹芝地区船着場（ウォーターズ竹芝前）」と「竹芝干潟」を整備しました。 一般社団法人竹芝エリアマネジメントが河川占用許可を受け、東日本旅客鉄道株式会社が汐留川に船着き場とともに、干潟を整備しました。2020年7月より、一般社団法人竹芝タウンデザインが主体となって竹芝干潟での環境再生・環境学習の取組を開始しており、地区や行政と連携した活動を継続し、竹芝地区全体のまちづくりにおける魅力向上に取り組んでいます。	
	②取組内容を確認できるURL（または資料添付）	https://waters-takeshiba.jp/waterside/#tideland	
	③実施時期、頻度	2020年より、通年で実施	
	④活動場所（所在地）	東京都港区海岸一丁目	
	⑤活動の規模（参加者数）	30～50名程度	
	⑥活動状況がわかる写真（撮影年月日）（既に実施している場合）※		
	2020年	2025年6月21日	
対応する社会課題 （該当する項目にチェック／複数選択可）	<input checked="" type="checkbox"/>	子供の福祉（子供の健やかな成長を社会全体でサポート）	
	<input checked="" type="checkbox"/>	都民の健康・長寿（誰もが元気で心豊かに暮らせる地域の実現）	
	<input checked="" type="checkbox"/>	コミュニティ形成（誰もが集い、支え合うコミュニティを至るところに形成）	
	<input checked="" type="checkbox"/>	防災・減災／気候変動対策（地球温暖化に伴う豪雨や自然災害等の被害軽減）	
	<input checked="" type="checkbox"/>	地域振興（東京全体の生産性、魅力向上）	
	<input checked="" type="checkbox"/>	観光・文化振興（人々のウェルビーイング、東京のプレゼンス向上）	
	<input checked="" type="checkbox"/>	農林水産業の成長（危機に強い産業構造への転換）	
	<input checked="" type="checkbox"/>	緑や水辺を生かした空間の創出／自然地保全・管理（都市機能を高め、世界を魅了）	
活用している生態系の機能 （該当する項目にチェック／複数選択可）	<input checked="" type="checkbox"/>	供給サービス（日々の暮らしに必要な資源を供給／食料、繊維、木材、水、薬品など）	
	<input checked="" type="checkbox"/>	調整サービス（二酸化炭素の吸収）	
	<input checked="" type="checkbox"/>	調整サービス（都市環境の質の向上／ヒートアイランド現象・暑熱環境の緩和）	
	<input checked="" type="checkbox"/>	調整サービス（都市環境の質の向上／大気汚染や騒音の低下）	
	<input checked="" type="checkbox"/>	調整サービス（災害の緩和／台風、洪水、津波、地滑り、雨水浸透、Eco-DRR）	
	<input checked="" type="checkbox"/>	調整サービス（水質の浄化／窒素やリンの吸収、有機物の取り込み）	
	<input checked="" type="checkbox"/>	調整サービス（花粉媒介／植物の世代交代、農作物の収穫量の増加）	
	<input checked="" type="checkbox"/>	文化的サービス（精神を豊かにする機能／芸術的・文化的なひらめき、教育的効果、心身のやすらぎ、観光レクリエーションなど）	
	<input checked="" type="checkbox"/>	基盤サービス（生息・生育環境の提供）	
	<input checked="" type="checkbox"/>	基盤サービス（光合成による酸素の生成）	
	<input checked="" type="checkbox"/>	基盤サービス（地力の維持及び栄養循環）	
	貢献の内容 （自由記述）	①人間の幸福に対して	竹芝干潟の整備により、都心にいながら自然にふれられる水辺空間が生まれ、訪れる人や地域の方々にとって、心地よく過ごせる場所となっています。また、竹芝干潟オープンデーや環境学習プログラム、釣り体験等を通じて、多様な世代に対して自然体験の機会を提供するとともに、学校との連携による活動等を通じて環境意識の醸成と人材育成にも貢献しています。こうした水辺を活かした取組により、地域コミュニティの活性化や竹芝エリアの魅力や価値の向上にもつながっています。
②生物多様性に対して		竹芝干潟の整備により、都市部において希少な汽水域の干潟環境が創出され、東京都レッドリスト掲載種を含めた多様な生物の生息する環境が形成されています。また、潮だまり（タイドプール）の造成やカニの生息場となる砂山の造成など、継続して生物の生息環境の質の向上を図っています。 さらに、専門家によるアドバイザーボードの助言のもと、調査や活動結果等を踏まえた取組の改善（PDCA）を継続的に行うことで、生態系の維持・向上を図る順応的管理を実践しており、これにより、都市における生物多様性の保全と回復に貢献しています。	